

研究主題

共通主題 協働して、よりよく生きようとする児童・生徒の育成
～安定と柔軟性がある学級集団づくりを通して～

〈厨川中学校区 3校共通の視点〉

(生徒指導を基盤として)

《「生徒指導」の実践上の視点を活かす》

- リアクティブからプロアクティブな指導支援へ
- 予防的生徒指導から成長を促す「開発的生徒指導」へ
- あらゆる教育活動と生徒指導を関連付ける

生徒指導の実践上の視点

→生徒指導提要から

- 1 自己存在感の感受
- 2 共感的な人間関係の育成
- 3 自己決定の場の提供
- 4 安全・安心な風土の醸成

青山小学校の取組

1 児童の実態から

- ◎R5年度CRTの結果から、ほとんどの学年での学力低下が見られた。(特に算数)
- ◎本校作成・実施の算数アンケートの結果から、友達との関わり合いの中で学び合う楽しさを感じている児童が少ない。
- ◎相手の気持ちを思いやることのできない言動も見られる。それにより対人関係のトラブルが多い。
- ◎学級集団において、学級をよりよくしていきたいという思いを持った児童もいる。



本研究を通して

本校の研究を、生徒指導提要で示してある「生徒指導の実践上の視点」を活用して整理し直し、3T(つなぐ、高める、使う)のある算数科の学習を通して「他者とつながりながら、しなやかに考えたくましく生き抜く子ども」を育成したい。

2 中心的研究内容

しなやかに考える子どもの育成

〈3T(つなぐ・高める・使う)のある算数科の学習を通して〉

◎目指す子どもの姿

→キーワード「しなやか」

※以下のどの姿にも「生徒指導上の視点」が大きくかかわっている。

(1) つなぐ

- ・友達の考えと自分の考えをつなげ、互いに関わろうとする子。
- ・根拠や理由を想像して、友達の考えを説明する子。
- ・友達の間違いに共感し、友達の考えを問題解決に関連付ける子。

(2) 高める

- ・相手に分かりやすいように表現を工夫して伝える子。

(3)使う

- ・適用問題を解くとき、解決に困る友達がいたら、教え合いをしながら解決に向かう子。
- ・1人では解けない発展問題も友達と協力して解決に向かう子。

3 具体的手立て

◎教科授業改善に取り組む。

→研究主題の共通理解を図り、達成に向け実践する

○授業改善の視点

1 自己存在感の感受

- ・子どもの考えやつぶやきを取り上げ、価値付ける

2 共感的な人間関係の育成

- ・考えるための「話す」活動を位置付ける
- ・伝えるための「話す」活動を位置付ける
- ・確かな学びにするための「話す」活動を位置付ける

3 自己決定の場の提供

- ・自分、友達、算数の三者を関連付ける
- ・「つながり」「高める」「使う」発問や問い返し
- ・全体授業研究会での学び合い

4 安全・安心な風土の醸成

- ・自分の考えを伸び伸びと発言できる学級づくり
- ・青小スタディの取り組み

